

正誤表
(2017年3月27日)

初版第1刷に以下の誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

項目	頁・行	誤	正	補足
1-2 細胞内小器官	12・右段4	3.0mm	3.0 μ m	
1-6 翻訳	図3	終始コドン	終止コドン	正しい図はこちら
1-6 翻訳	図3		ORFの範囲を変更	正しい図はこちら
1-8 アミノ酸の構造と性質	図2	Glu	Gln	正しい図はこちら
2-19 機械学習の評価	87・左段6	ROC	AUC	
3-7 モチーフ	図1		D \rightarrow Mへの矢印を追加	正しい図はこちら
3-8 ゲノムプロジェクトと遺伝子予測	105・右段13	観察される	必要である	
4-1 構造化学	114・左段9	像と	像になり	
4-3 構造モチーフ	118・左段27	2つのあいだのヘリックスを	2つのヘリックスのあいだを	
5-7 パラログ・オーソログ	図1・説明文	β -グロビン分子	β -グロビン2分子	
6-5 遺伝子発現クラスタリング	162・左段14	階層的クラスタリング	階層型クラスタリング	
6-5 遺伝子発現クラスタリング	図1	階層的	階層型	正しい図はこちら
6-5 遺伝子発現クラスタリング	図1	非階層的	非階層型	正しい図はこちら

初版第2刷に以下の誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

1-5 転写	19・右段1	DNA結合モチーフをもつ	DNA結合モチーフ)をもつ	
1-7 核酸の構造と機能	23・左段15	アミノ酸に分解され	ヌクレオチドに分解され	
1-7 核酸の構造と機能	図1	ヌクレオシド(リン酸+五炭糖)	糖リン酸骨格(リン酸+五炭糖) ヌクレオシド(五炭糖+塩基)	正しい図はこちら
1-12 免疫と代謝	33・練習問題解説2,3,5	kcal/mol	kJ/mol	
4-8 タンパク質立体構造の保存性分	128・左段20	RMAD	RMSD	
4-10 マップ分析	132・左段36, 39	favored領域	most favored領域	
4-10 マップ分析	132・左段37	generously allowed領域	additional allowed領域	
4-10 マップ分析	132・左段38	allowed領域	generously allowed領域	
4-10 マップ分析	図2	favored region	additional allowed region	正しい図はこちら
5-3 遺伝子マーカー	図1		ALDH2-1と2-2の配列を入れ替え	正しい図はこちら
5-3 遺伝子マーカー	図1説明文	A(ALDH2-1)がG(ALDH2-2)に	G(ALDH2-1)がA(ALDH2-2)に	